

監事と理事長、役員等との意見交換の概要（令和５年度第１回）

日 時：令和５年５月２６日（金）１４時４５分～１５時３０分

場 所：本部管理棟３階 第１会議室

出席者：三野監事、大久保監事、三谷監事

榊理事長、宮下大学総括理事、今岡大学総括理事、榎本理事、西村理事

陪席者：三木奈良教育大学副学長、林機構総務課長、矢倉奈良教育大学総務課長、

岩阪監査室長、西井監査室監査係長

概 要

令和４年度監事監査を通じて得た気づきをテーマに意見交換が行われた。

その中で、STEAM・融合教育開発機構のうち文系のけいはんな歴史文化共同研究所と奈良カレッジズとの連携の見通しについて、エクステンションとけいはんな学研都市で行おうとしている取組を結びつけるのは難しい、情報交換を行って全体像がちぐはぐにならないようにしてもらいたい、中期計画において国内外に成果を発信するシステムを構築することが評価指標になっており対外的に説明可能な組織とする必要がある、組織のスリム化の観点からも STEAM・融合教育開発機構を含めた検討が必要ではないかなどの意見があった。

また、業務効率化の観点から、両大学でのコミュニケーションが取れていないところがあるのではないか、両大学で重複している業務の洗い出しにはコミュニケーションが必要との意見があり、法人全体として見たときにキーワードでつながるところをつないで有機的に進めていく必要があるとの発言があった。

三者協議会（令和 5 年度第 1 回）概要

日 時：令和 5 年 6 月 20 日（木）13 時～14 時 10 分

場 所：本部管理棟 3 階 第 2 会議室

出席者：あずさ監査法人岸田パートナー、玉垣パートナー、中野シニアマネージャー

三野監事、大久保監事

榊理事長、宮下大学総括理事、今岡大学総括理事、榎本理事

陪席者：幸田財務課長、岩阪監査室長、西井監査室監査係長

概 要

監査法人から、資料に第 19 期監査結果について報告があった後、質疑応答及び意見交換が行われた。

その中で、三野監事から他大学の図書の管理状況はどのようになっているのかと質問があり、あずさ監査法人から、図書館で保管している図書は資産としているがそれ以外は貸借対照表に計上していない大学もあるとの説明があった。

また、榊理事長から歴史的に貴重な本は図書館で保存するというような法人内のルールを策定する必要があるとの意見があった。

三者協議会（令和 5 年度第 2 回）概要

日 時：令和 5 年 10 月 19 日（木）13 時 30 分～15 時

場 所：本部管理棟 3 階 第 2 会議室

出席者：あずさ監査法人岸田パートナー、玉垣パートナー、中野シニアマネージャー

三野監事、大久保監事

榊理事長、宮下大学総括理事、今岡大学総括理事、榎本理事、西村理事

陪席者：幸田財務課長、岩阪監査室長、西井監査室監査係長

概 要

あずさ監査法人から、資料に基づき第 20 期監査計画について説明があった後、日本公認会計士協会による当監査法人等に対する処分について報告があった。

引き続き、監査室長から資料に基づき第 4 期中期目標・中期計画の進捗及び達成に向けて認識している課題など法人運営環境等について説明があった後、意見交換が行われた。

その中で、懸念事項として、人事院勧告、電気料金の高騰、定年延長への対応があるとの補足説明があった。また、リスク管理のためにマニュアルの作成と意識の共有化を進めていきたい、内部統制にあたっては各部局においてチェックリストを用いて点検を行い法人としても委員会を開催して PDCA を回していくとの発言があった。

あずさ監査法人からは、法人統合後の課題が見えてきた頃であり、運用で揃っていないところがないかということも併せて見ていきたいとの発言があった。

監事と理事長、役員等との意見交換の概要（令和 5 年度第 2 回）

日 時：令和 5 年 12 月 22 日（金）15 時～16 時

場 所：本部管理棟 3 階 第 1 会議室

出席者：三野監事、大久保監事、三谷監事

榊理事長、宮下大学総括理事、今岡大学総括理事、榎本理事、西村理事

陪席者：岩阪監査室長

概 要

監事監査において着目している事項をテーマに意見交換が行われた。

その中で、総合知について、学び続けるきっかけを学生に与えてもらえればよいのではないか、奈良ならではの総合知として早々と入試にチューニングしてきたのをこれではいけないと気付かせてあげるきっかけにできればよいとの意見があった。

また、諸会議の進め方について、目的や経緯をわかりやすく先ず説明してもらいたい、議事録が詳しくなりすぎていて要旨を明快にすればよい、決定事項と結論が出なければ誰が行うのかを明快にすべきとの意見があった。これに対し、ご指摘のように進めていきたい、次回にきっちりとしたものを用意すると予告して 2 回に分けて議論するのも進め方の一つであるとの発言があった。

監事と理事長、役員等との意見交換の概要（令和５年度第３回）

日 時：令和 6 年 3 月 29 日（金）16 時 30 分～17 時

場 所：本部管理棟 3 階 第 1 会議室

出席者：三野監事、大久保監事、三谷監事

榊理事長、宮下大学総括理事、今岡大学総括理事、榎本理事、西村理事

陪席者：岩阪監査室長

概 要

監事監査において着目している事項をテーマに意見交換が行われた。

その中で、研究について、アカデミック Week のような研究交流会を機構として開催できないかとの意見があった。また、文学部でまほろば叢書が刊行されているが、以前に刊行されていた奈良女子大学叢書の復刊を考えてもらいたいとの意見があった。

これに対し、研究の活性化に一番大事なのは互いの仕事を理解し興味を持つことであり、優先度を高めて、研究の相互啓発を進めていけるようにしたいとの発言があった。また、安定したオペレーションがそのままでよいのか、教養教育自体が機能しているのかなど議論していきたいとの発言があった。